

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	農業集落排水整備事業						担当部	上下水道部			
	会計区分	農業集落排水事業特別会計			事業類型	施設整備系		担当課	下水道課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	建設係			
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		25 汚水・排水処理		3 水洗化を促進する					
		副目的	25-3		25-4							
	予算区分	款	2	項	1	目	1	大	2	中	1	
	根拠法令・個別計画											
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	民家等の早期接続により、地域環境保全と事業会計の健全な経営が求められる。生活雑排水の増大と排出成分による水質悪化により、取水した用水による水穂の減収や農作物の生育障害の発生に伴い、地域住民からの環境改善要望により生活環境改善、農業用水の水質保全を目的としている。										
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容 下水道管未整備路線は、公共用地境界が確定した時、マンホールポンプはポンプの維持管理を省くため、上流家屋が接続する時に速やかに設置する。工事費については、上流部の接続申請がないため施工できなかった。 事務従事職員は、未接続家屋に対する戸別訪問(普及促進)を10月に実施している。</p> <p>◆25年度直接の経費 農業集落排水建設費 管路施設工事費:4,000千円</p> <p>【その他財源の内容】 農業集落排水事業受益者分担金 一般会計繰入金</p>										
	受益者負担	有 受益者分担金 296,000円(接続1件当り)										
コスト			単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額					
	費用	直接経費		千円	0	0	0	4,000				
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10				
			人件費	千円	533	533	533	533				
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00				
			人件費	千円	0	0	0	0				
		費用合計		千円	533	533	533	4,533				
	対前年比		%		100.0	100.0	850.4					
	財源	一般財源		千円	533	533	533	4,533				
		国・県支出金		千円	0	0	0	0				
その他財源		千円	0	0	0	0						

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	下水道管整備	m	目標	114	114	114
実績				0	0	0	
	マンホールポンプ整備	基	目標	2	2	2	2
			実績	0	0	0	
	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標				
	接続率	%	目標	68	75	80	80
			実績	70	74	74	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	下水施設で管渠は97%、マンホールポンプは80%完成している。接続率は年々増加しているが、残り下水施設の整備は接続意思確認後でしか工事施工できないため、毎年予算化する必要がある。				
		事業実施における課題	現在、農業集落排水に未接続な世帯は、毎年訪問または書面にて接続の必要性と費用補助について説明をしているが、年間接続数は数件である。地元の事業であるので、関係区と行政と指定工事店との連絡強化、情報共有を図りたい。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	接続率100%で事業目的の地域環境保全と処理場の完全稼働が達成される。よって、事業を縮小したときは、既接続者に対する説明ができないし、処理場が過大施設となる。				
		平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	マンホールポンプ対象者に対して個別訪問を行い、施工意思の確認と時期を確認する。			
		平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
		判定理由	農政課より事業を引き継いだ、事業が完了していないため。				
		26年度以降の改善案	接続希望に伴い管路新設、ポンプ設置なので、個別訪問の回数を年1回から2回に増やすことを検討する。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
		維持